

平成 26 年度第一期第 1 回（一社）日本生物物理学会理事会議事録

日時：2014 年 1 月 25 日（土）13：30～17：00

場所：新大阪丸ビル本館 4 階 403 号室

出席者：理事総数 17 名 出席理事 16 名（代表理事を含む。）

代表理事（会長）	七田 芳則	理事（副会長）	有坂 文雄
理事（副会長）	船津 高志	理事	石森 浩一郎
理事	伊東 大輔	理事	今元 泰
理事	金城 政孝	理事	佐甲 靖志
理事	須藤 雄気	理事	高橋 聡
理事	寺北 明久	理事	根岸 瑠美
理事	林 久美子	理事	政池 知子
理事	村上 緑	理事	山口 真理子

監事総数 2 名 出席監事 1 名

監事 難波 啓一

オブザーバー：

BIOPHYSICS 編集委員長 石渡 信一

ホームページ編集委員長 由良 敬

陪席者：

学会本部事務局 垣内 香里

議長：代表理事（会長） 七田 芳則

議事録作成者： 理事 伊東 大輔

報告および審議事項：

報告事項：

1. 平成 26 年度年会準備状況（石森・金城）：報 1
2. 出版委員会報告（船津）：報 2
3. 男女共同参画・若手問題検討委員会報告（有坂）：当日配布
4. 男女共同参画学協会連絡会報告（有坂）：資料なし
5. 会員除籍と会員数の報告（須藤、今元）：報 5
6. 選挙システムの機能追加について（須藤、今元）：報 6
7. 平成 26 年度代議員選挙結果報告（七田）：報 7
8. 文科省「一家に 1 枚」ポスター制作状況報告（林）：資料なし
9. 生科連・第 1 回教科書問題検討委員会報告（七田）：報 9
10. 賞・助成金推薦委員会報告（船津）：報 10
11. 支部報告（支部長・会長）：報 11

審議事項：

1. 平成 25 年度決算報告書（案）の承認（高橋）：議 1
2. 平成 26 年度第一期予算について（高橋）：議 2
3. 平成 27・28 年度会長候補者選出手続きについて（七田）：議 3
4. 顕微鏡学会との連携について（七田）：議 4
5. 第 52 回年会時の総会運営について（七田）：議 5

議事の経過の要領およびその結果：

理事会の審議に先立ち、会長より、定足数を満たしており、定款第六章第三十二条の規定により理事会が成立していることが報告された。会長が議長に就き、開会を宣言し審議に入った。

報告事項：

1. 平成 26 年度年会準備状況（石森・金城）：報 1

石森理事から平成 26 年度札幌年会準備状況に関して、シンポジウム企画公募についての報告があった。シンポジウムの企画募集を行い、24 件を候補として選出した。若手招待講演を加えた計 25 件のシンポジウムを年会で開催することが提案された。このうち 1 件は、日本顕微鏡学会との合同シンポジウム企画が含まれている。理事会でこれら 25 候補のシンポジウム開催を承認した。

日本顕微鏡学会との合同シンポジウム企画に関連して、七田会長から日本顕微鏡学会と相互協定書を締結する事が提案され、承認された。

石森理事から年会案内の内容案について提示され、会誌の電子化に伴い今年は郵送すること、参加申込み期間については検討中であり実行委員会と調整を続けること、被災地学生の年会参加費免除を札幌年会でも継続することを報告・決定した。

2. 出版委員会報告（船津）：報 2

船津出版委員長から、原田会誌編集委員長の代理として会誌編集委員会の報告があった。1) 投稿規定の変更、2) 英文執筆依頼の執筆要項の原案作成、3) 生物物理に掲載の動画の転載許可（出典の明記、営利目的で使用しない事を条件とする）、4) 学会誌 PDF 版公開時のお知らせメール文面についての報告・提案があり、提案事項は理事会で承認された。

続いて、石渡 BIOPHYSICS 編集委員長から、BIOPHYSICS 編集委員会の報告があった。BIOPHYSICS 誌への投稿状況について報告され、Impact Factor (Web of Science)の獲得のために投稿を促すことがアナウンスされた。また、札幌年会において、BIOPHYSICS 誌シンポジウム（名称未定）を学会が行う第 3 番目のシンポジウムとして企画・開催できないか提案があった。内容は、Impact Factor（トムソン・ロイターの方による説明）、BIOPHYSICS の投稿方法、関連の賞、将来像などである。シンポジウムの開催方法・経費について議論し、年会 2 日目に開催予定の分野別専門委員会で上記内容の説明をおこない、一般会員の参加も歓迎することとした。由良 HP 編集委員長から HP 編集委員会の報告があった。1) HP の法人化対応完了報告、2) Editors summary 掲載内容一覧の HP への追加提案（見積額 12,600 円）、3) HP への「シリーズ 生物物理から生まれた応用技術（仮）」

掲載提案（見積額 25,200 円）、4) 企業「PR ページ」の「広告記事」としての改訂と HP への掲載提案（見積額 25,000 円。3)、4)を同時に進めると 37,800 円に割引) がされ、提案事項は理事会で承認された。

3. 男女共同参画・若手問題検討委員会報告（有坂）：当日配布

有坂男女共同参画・若手問題検討委員長より、午前中の委員会内容について報告があった。委員会名を「男女共同参画・『若手支援』委員会」へ変更することが提案され、理事会で承認された。

札幌年会における男女共同参画シンポジウムの内容について、名古屋大学における子育て支援への取り組みを候補の一つとして取り上げ、子育て支援ネットワークに参画している坂内博子氏に講師の一人として依頼する事が提案された。また、新しい試みとして、講演後グループディスカッションを行う企画が提案された。人数や会場設営等の点から開催可能であるか議論し、今後も年会実行委員会と検討していくこととなった。

リバネス主催の高校生のための学会「サイエンスキャッスル」へのブースを出展、林理事（東京）・瀧ノ上氏（大阪）の参加が報告された。今回は若手の会や学生学会員も参加し啓蒙活動を共同で行った。次回のサイエンスキャッスルの担当理事について報告され、出展・参加のために学会から 10 万円支出することが承認された。

続いて、若手奨励賞の審査方法について報告があった。今年は、審査員は全ての分野をカバーするように選出するが、応募書類についてはランダムに振り分け審査することとなった。今年は応募書類に過去の受賞歴・応募中の賞の項目、および応募者の業績における貢献度を追記することが提案され、承認された。

4. 男女共同参画学協会連絡会報告（有坂）：資料なし

有坂男女共同参画・若手支援委員長より、前回から今回までの期間は活動がなかったことが報告された。

5. 会員除籍と会員数の報告（須藤、今元）：報 5

須藤理事より、2013 年 12 月 31 日の入金状況により、会費 3 年滞納者の除籍処理が完了したことが報告された。会員数は横ばいで推移している。

6. 選挙システムの機能追加について（須藤、今元）：報 6

須藤理事より選挙システムの機能追加（ラジオボタンの追加）が完了し、平成 26 年度代議員候補者選挙が行われたとの報告があった。

7. 平成 26 年度代議員選挙結果報告（七田）：報 7

高田選挙管理委員長に代わって、七田会長から選挙結果の報告があった。先の総会でも報告されたとおり、216 名から投票があり、全員が代議員として選出された。学会誌 2 号および学会 HP 掲載用の広告（選挙結果報告）の内容が提示され、確認後承認された。

8. 文科省「一家に 1 枚」ポスター製作状況報告（林）：資料なし

林理事から文科省「一家に一枚」ポスター製作状況について、現在製作を進めており、仮

レイアウトについて近日中に委員会のメーリングリストで配布することが報告された。同ポスターは、文科省より全国の小中高校と科学館へ約 15～17 万枚が 3 月下旬に配布される予定。

9. 生科連・第 1 回教科書問題検討委員会報告（七田）：報 9

七田会長より、生科連の第 1 回教科書問題検討委員会について、昨年 12 月 26 日に開催された同委員会には、瀧ノ上前運営委員に出席いただいたという報告がされた。瀧ノ上氏の学会役員任期は終了したが、引き続き本学会代表として教科書問題検討委員会へ出席いただく。

10. 賞・助成金推薦委員会報告（船津）：報 10

船津賞・助成金推薦委員長より、藤原賞の推薦と各賞受賞式への出席について報告があった。第 50 回藤原賞について、吉田賢右氏を候補者として推薦した。第 30 回井上學術賞贈呈式、平成 25 年度島津賞表彰式ならびに受賞記念講演会にそれぞれ船津委員長、七田会長が出席予定であることが報告された。江崎玲於奈賞について学会を推薦団体としていただいたこと、HFSP Nakasone Award の情報をご提供いただけるように働きかけたことについても報告があった。学会としては今後も推薦していくことを確認した。

11. 支部報告（支部長・会長）：報 11

金城理事（北海道支部長）に代わって、石森理事から昨年度の北海道支部活動および決算について報告があった。七田会長から、中国四国支部から支部会開催（会期：2014 年 5 月 17 日・18 日、会場：鳥取・とりぎん文化会館）の連絡を受けたことが報告された。

審議事項：

1. 平成 25 年度決算報告書（案）の承認（高橋）：議 1

高橋理事から H25 年度の決算報告があった。単年度収支として、収入が 50,036,086 円、支出が 48,872,235 円で、1,163,851 円の黒字となった。決算報告書類については、ほぼ内容確定であるが、法人化に伴う処理が完了していないため、一部変更となる可能性がある。本決算は昨年までの日本生物物理学会（任意団体）のものである。報告は総会での承認事項であるが、任意団体が解散したこと、また、法人化に伴う処理が完了していないことなどから、理事会で審議事項として処理し、H26 年第一期決算と同時に定時社員総会で承認を得ることとする。（正規の手順では、決算報告書が完成すればまず監事に監査を依頼し、その監査内容を理事会で報告し、その後定時社員総会で社員の承認を得ることになる。）

2. 平成 26 年度第一期予算について（高橋）：議 2

高橋理事から H26 年度第一期予算について報告があった。予備費について、予算作成時には科目計上されるが、本学会では予算を超えて使用することができること、予備費があることで予算の赤字が大きく見えることから、予備費を削除することについて提案され、承認された。予算について、H26 年度第二期からは、4 月の理事会で事業計画書・予算案を審議・承認し、6 月の定例社員総会で報告することとする。

3. 平成 27・28 年度会長候補者選出手続きについて（七田）：議 3

高田選挙管理委員長に代わって七田会長から、会長候補者選出手続きの方法について提議された。法人では会長は理事会で決定するため、これまでの次期会長選挙の形を会長候補移行聴取選挙に変更する。代議員による候補者推薦の手順について審議し、会長候補者推薦は選挙システムを使用し Web 推薦を実施することとなった。

4. 顕微鏡学会との連携について（七田）：議 4

報告事項 1 で承認されたように、顕微鏡学会と相互協定書を締結することとなった。

5. 第 52 回年会時の総会運営について（七田）：議 5

七田会長から本年の総会運営について、年会時の総会が報告のみになったため、新しいイベントの場を学会員に提供することが提案された。七田会長より須藤理事、永井理事、瀧ノ上氏、今元理事、石森理事の 5 名がワーキンググループとして推薦され、検討していくこととなった。

その他：

新理事は登記関連書類（就任承諾書）へ押印した。

連絡事項：

1. 次回理事会日程について（七田）

平成 26 年度第一期第 2 回理事会

2014 年 4 月 5 日（土）13 時～ 場所：キャンパスプラザ京都

（11 時より出版委員会、男女共同参画・若手支援委員会開催）

平成 26 年度第二期第 1 回理事会

2014 年 6 月 28 日（土）13 時～ 場所：検討中

（監事から監査報告のための理事会を開催→定例社員総会→通常の理事会を予定）

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 17：00 に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

平成 26 年 3 月 7 日

一般社団法人 日本生物物理学会 平成 26 年度第一期第 1 回理事会

代表理事 七 田 芳 則 （印）

監事 難 波 啓 一 （印）